スポーツとーく滋賀 190 号

発行：新日本スポーツ連盟滋賀県連盟
発行日：2025. 10. 10／通巻 190 号　発行責任者：渋谷敏久／編集担当：佐々木鉄人
〒520-0851　滋賀県大津市浜大津 4 丁目 1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタ内 15／TEL・FAX　077521-3946／
Email　njsf_shiga8265@nifty.com／URL　http://homepage2.nifty.com/njsf_shiga/

へいわのつどい実行委員会　２０２５年８月２４日（日）

「へいわのつどい」に104 名の参加

滋賀県連盟の各種目からは 17 名

～　子どもたちへ平和のバトンをわたそう　～

8 月 24 日（日）平野コミュニティセンターで、今年で 5 回目の「へいわのつどい」が滋賀県労連・新日本スポーツ連盟等五団体の共催で開催されました。会場は 100 名以上入れる平野コミュニティセンターで、過去最高の 104 名の参加者でした。

新日本スポーツ連盟滋賀県連盟渋谷理事長の開会のあいさつ後、今年の原水爆禁止世界大会広島集会に参加された膳所診療所職員の馬淵さんが報告。馬淵さんは初参加したが、被爆者からの被爆体験の話を直接聞いてすごく心に響いたと。また会場には多くの若者も参加しており、この姿を見られて非常によかった。被爆者が生存中に日本が核兵器禁止条約に参加することを望むと締めくくられました。

次に、近江兄弟社高校演劇部による演劇。4 人の高校生が「平和」について自分の意見を述べるという劇で、しっかりした内容であり、若者の保守化が進んでいると言われている現在、非常に頼もしく思いました。こうした若者がもっと出てきて欲しいものです。

演劇　エコーズ～響きあうもの

次に、3 歳のとき広島で被爆した児童文学者・那須正幹さんの絵本「やくそく」をスクリーンに映しながらの朗読がありました。戦争は絶対嫌だと叫ぶことが必要とつくづく考えさせられました。休憩の後は、2 分の 1 カンタービレの大津在住の 2 名の方による鍵盤ハーモニカによる演奏、クラシックやアニメの主題歌の演奏、平和に関する演奏があり、心が和みました。やはり平和のありがたみがジーンときました。

「へいわのつどい」アピールをテクテクの大西良知さんが聞きやすい、張りのある声で提案され、聞き惚れました。最後に県労連議長衛藤さんの閉会のあいさつ、8 月 30 日のあいば野大集会への参加を訴えられました。今年は会場も広くゆったり参加でき、いい半日を過ごすことが出来ました。（高木　寿治記）

野球

滋賀 野球協議会の取組み

テーマ：野球人口を減らさない努力、啓蒙活動

近年、子どもたちのスポーツ離れが進み、特に野球人口の減少が大きな課題となっています。野球はチームワークや礼儀、努力することの大切さを学べる素晴らしいスポーツであり、滋賀県の野球協議会としても、この伝統を未来へつなげていく責任があります。

そのためには、まず子どもたちに「野球の楽しさ」を伝える活動が欠かせません。初心者でも気軽に参加できる体験会や、プロ選手や社会人選手を招いた交流イベントを開催することで、憧れや夢を持ってもらうことができます。また、学校や地域クラブと連携し、親子で楽しめる野球教室を開くことも効果的です。

さらに、野球は「厳しい」「時間がかかる」というイメージを持たれることも多いため、指導者自身が学び直し、現代に合った指導法を取り入れることも重要です。子どもたちが主体的に楽しみ、達成感を得られる練習を工夫することで、野球を続けたいと思う気持ちを育てられます。

また、啓蒙活動として、野球が持つ教育的価値や、心身の成長に与える影響を保護者や地域に広く伝えていくことも必要です。地域メディアや SNS を活用し、野球の魅力を積極的に発信することで、理解と応援の輪を広げることができます。

野球人口を減らさないための努力は、一つの団体だけでは成し遂げられません。全国協議会を中心に、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことで、未来の子どもたちに野球の楽しさを受け継いでいけると考えます。滋賀から全国へ、野球の魅力を伝える活動を今後も続けていきたいと思います。

滋賀野球協議会　会長　赤塚　海星

9 月の試合結果

✧	9 月 7 日	リーグ戦	ブレイザーズ対キングダ（皇子山第 1 G）	12-3
			Doddys 対滋賀スラッガーズ（皇子山第 1 G）	1-1
✧	9 月 20 日	西日本大会久宝寺野球場	Doddys 対アンビシャス	0-1
		3 位決定戦	Doddys 対ウォリアーズ	3-5

卓球

滋賀卓球連盟の取り組み

- 滋賀卓球連盟は、京都卓球連盟と共同で、年間約 40 回　程の団体戦、シングルス、ダブルスの試合を開催しております。
- 基本は会員様に楽しく参加して頂ける環境を目指しています。
- 卓球は、子供から大人まで年齢層に関係なく楽しんで頂ける競技です。
- 練習はそれぞれのチームごとに練習場を確保し日々励んでいます。
- 練習会には他チームとの交流もしながら楽しく練習をしています。
- 毎年開催される全国大会を目指しておられる会員様もおいでになりますので、
- 本格的に卓球をやりたいと言った方から、健康のために体を動かしたいと言った方までおいでになります。

ご興味のある方の参加をお待ちしております。

9 月の試合結果

✧　9 月 7 日（日）
　第 1 回連盟リーグ　３複２単　団体大会
　場所　皇子が丘体育館
　参加者　約 250 名

✧　9 月 16 日（火）
　第２回　オールダブルス大会
　場所　伏見港体育館
　参加者　約　300 名

✧　9 月 27 日（土）
　第 163 回クラス別単卓球大会
　場所　島津アリーナ京都体育館
　参加者　350 名

✧　9 月 31 日（日）
　新体連卓球交流会
　場所　石山市民体育館
　参加者　15 名

ウォーキング　びわこテクテククラブ

　びわこテクテククラブ９月の例会は信楽窯元巡りにいきました。
ＮＨＫ朝ドラ「スカーレット」の舞台となった信楽。　その陶器づくりの場ともなった作業場にも見学。　狸の置物にも一杯触れながらまだ暑さの残る信楽の街を散策。その後は信楽高原鉄道にもどり、おしゃれな古民家レストランで「ひつまぶし」のランチをいただきました。

スキー

滋賀スキー協報告　　　　　　　　・・・・会長　村地兼次

- スキー協は、ご存知の通りシーズンオフです。現在は、2026 シーズンに向けて準備をしているところです。
- 昨年と同様に、滋賀スノー祭典を開催することが決まりました。日程は 2026 年 1 月 17 18 日で、場所は石川県の白山一里野スキー場です。詳細はこれから決めていきます。
- また、合わせてこの時に、滋賀スキー協結成 50 周年の祝賀懇親会もするつもりです。

ランニング　　　びわこランナーズ

大津月例マラソン　新コース設定で開催

9 月 14 日(日）第 280 回大津月例マラソンが開催されました。今回より、新しいコース設定にて実施されました 。今回の参加者 17 名（ランナー12 名、運営スタッフ 5 名）でした。準備体操の後、新コースの説明を行なって、8：30 号砲

参加ランナーからは、アップダウンが少なく、コースも分かり易かったとの感想も頂きました。蒸し暑い中、皆さん頑張って走りました

月例会後は森本元会長による整理体操を実施しました。

第 85 回野洲希望が丘 3 時間走＆BBQ

9 月 28 日(日）第 85 回野洲希望が丘 3 時間走＆BBQ が晴天の秋空の下実施されました。　参加者は RUN には 13 名で、その内 3 名の初参加者がありました。

当日の希望ヶ丘公園内は、国スポのラグビー大会に向けての準備や練習のための人達が入ってくる程度で、静かな中での 3 時間走となりました。

走った後は恒例の BBQ を予定通り行うことが出来ました。BBQ には 12 名が参加。ランニング談議に花を咲かせ、みんなで秋の一日を楽しみました。以上

いつでも　どこでも　だれでも　いつまでも　スポーツを
スポーツは かきねを越えて
スポーツきみが主人公
スポーツは 平和と共に

新日本スポーツ連盟（新スポ連）は、スポーツを国民の基本的な権利として確立し、誰もがスポーツを楽しめるようにするために、さまざまな活動を展開しています。

滋賀県連盟 HP